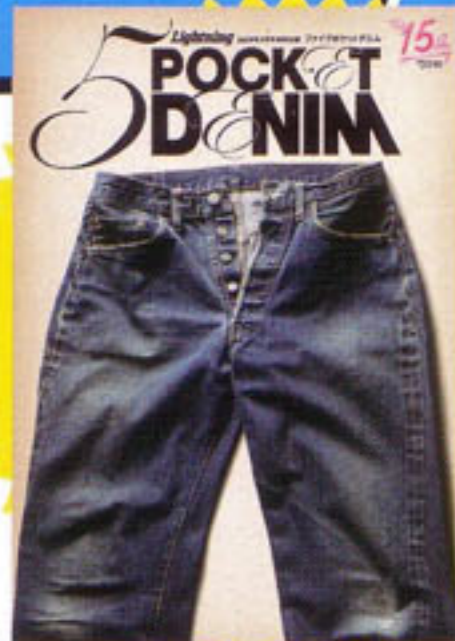


Lightning

ライトニング



別冊付録
「5ポケットデニム」
付き!!
デニムのすべを
ここで知る!!

2009 Vol.180 4月号 特別定価 ¥680

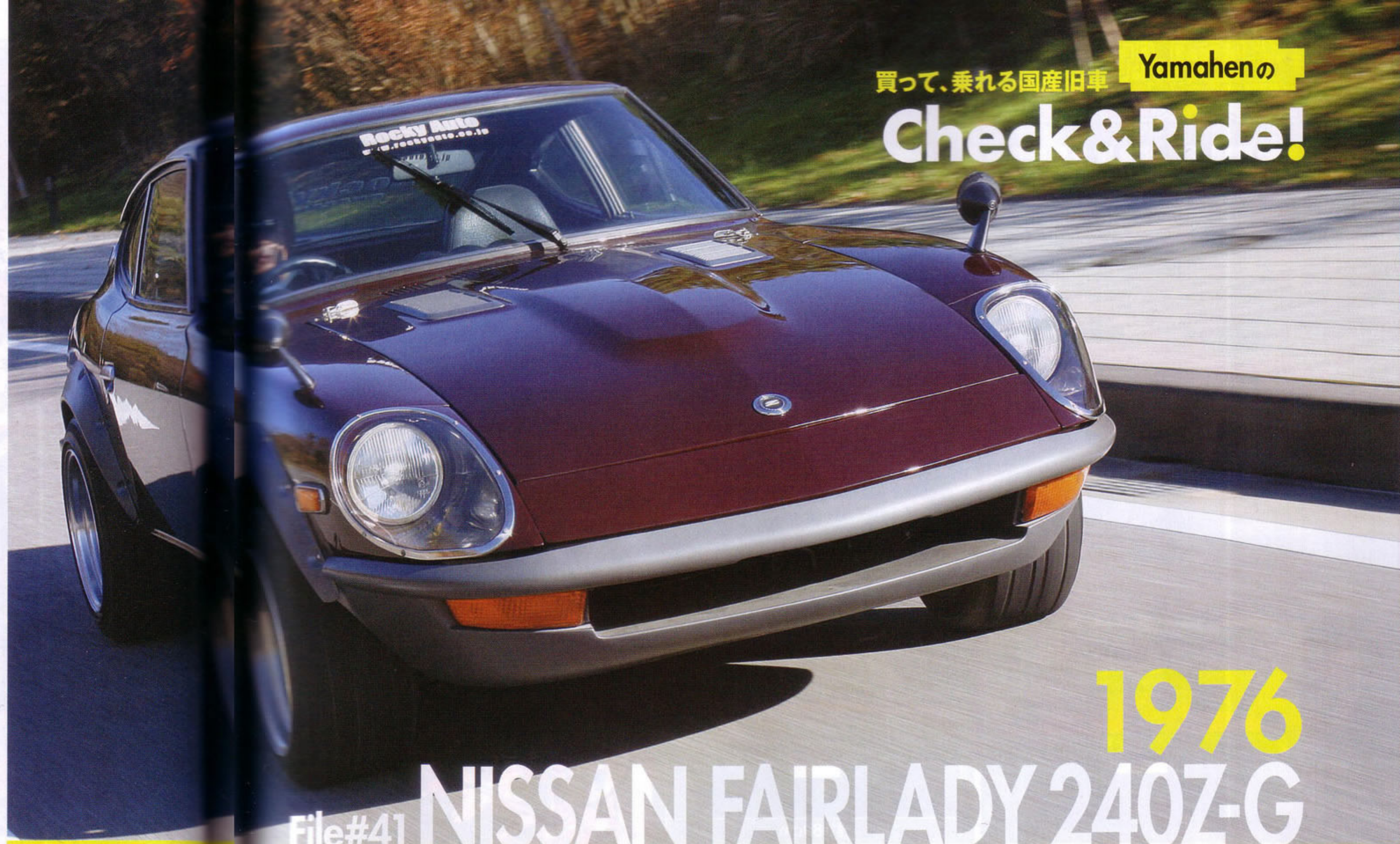
今すぐ手に入れたい。
自分だけの
一点モノを

特集
オーダー、カスタム、レアな逸品……



第二特集
好評連載特別編。
こうしてボクらはオーナーになった。
スヘシヤル

HW



File#41 **NISSAN FAIRLADY 240Z-G**
HS30改 RB25-DE

憧れのZGベース
贅沢な快適仕様に
ファン心が昂ぶる

Zファンが憧れる名車240ZG。
そんな伝説の車体をベースに
ツインカム2.5リッターを搭載。
納得のメニューで細部まで
きっちり仕上げた大人の1台。

text/K.Yamazaki 山崎和彦
photo/T.Sakurai 桜井健雄
取材協力/ロッキーオート



今や国産旧車をベースに大胆なカスタマイジングを楽しむことは特別なことではない。時代の流れとともに希少なクルマを最高のコンディションで乗ることが困難になっていくなかで、外観は当時の雰囲気を壊さずに、中身に最新のメカニズムを導入することで、足になる旧車を実現させることは、カリフォルニアを中心としたアメリカやオーストラリアではもう何年も前からポピュラーな手法となっている。もちろん日本でもそのスタイルは浸透しつつあって、既に世界に誇れる素晴らしいカスタマイズドヴァインテージが多く存在するのだ。そんな奥深い旧車遊びの世界は、ご他聞にもれず際立ったファンの発想と大胆な行動で更なる特化した領域が切り開かれる。その根底には「一人と同じものは嫌だ!」という、健全な趣味的思考があるわけで、そんなファンたちの強い気持ちと原動力となり、時として目を見張るような興味深いクルマが誕生したりするわけだ。

今回ここに紹介するクルマは、そんな新感覚で旧車を楽しむユーザーに向けて製作された文字通り垂涎の1台である。ニッサンの名車、フェアレディZにGノーズを装着してエ

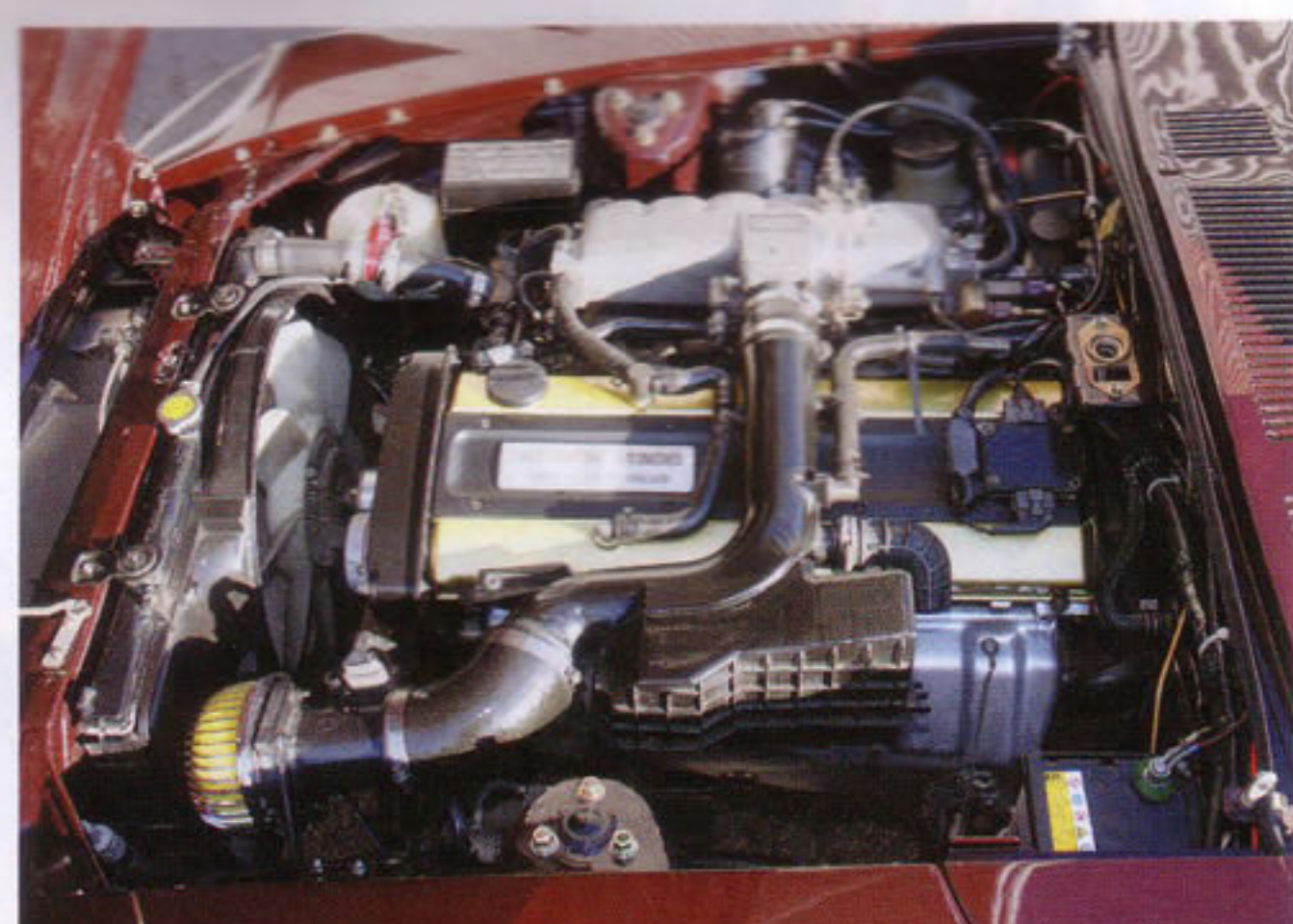
ンジンコンバート、となればカスタムメニューそのものは既に紹介したことのある内容だ。ではそこにもうひとつ、こんな要素を付け加えたらどうだろうか? ベース車両はホンモの240ZGだ、と。

この思わずニヤリとさせられる1台を製作したのは岡崎のロッキーオート。本誌別冊のヴァインテージジオでもお馴染みの、国産旧車を様々な観点で総合プロデュースする老舗だ。ベース車両のHS30に搭載するエンジンはRB25DEというツインカム2.5リッターで、あえて日常の足としてのユビリティを狙ったインジェクション仕様となっている。もちろんターボ仕様にして高年式のスポーティなクルマを追いかけるパフォーマンスを宿すことも可能だが、このクルマに関しては大人の感覚でZGの雰囲気を快適に楽しむというコンセプトを踏襲しているのだ。さらに快適性というテーマにそって、最新式のニッサン純正オートエアコンを装着してオールシーズンに対応し、電動パワーステアリングを装着することでストリートでの扱いやすさも実現している。またどんな状況においても安心して、踏める。スポーティカーとしての絶対条

件であるパフォーマンスに勝るプレーキ性能も、キャリバーはもちろんマスタシリンダー、バックを含めて全て純正のR32用を移植するというゴージャスなメニューで実現しているのだ。そしてこのクルマの素晴らしい乗って、踏んで実感する。ガツンとした剛性感に包まれて、ロングノーズを思った方向にグイグイとコントロールしながらのワインディングドライブは「最高!」の一言。胸の空く俊敏な加速感とスポーティカーの醍醐味を満喫するに十分な。



↑電装は丸目2灯にマーカーレンズのみというこのシンプルさが独特の美しさと凄みを同時に演出している



↑RB25DEという型式のツインカム2.5リッターエンジンを搭載。それだけでも複雑を極めるモディファイだが、見た目はまるで標準仕様のようだ。凄い!



↑ワイドなタイヤでドッシリと構えたリアビューはハイパースポーツカーの証。もうひとつのZらしさをアピールする



↑Zファンの間でも特に熱いファンに支持されているZG。シュッと伸びるGノーズの、空気を切り裂いて走るスポーツカーのイメージが魅力的だ



↑きっちりセッティングされた足回りのおかげで、有り余るパワーを存分に活かした走り堪能できる。嬉しい!



↑精悍なロングノーズがより強調される240ZGは、Z好きの間でも特別な1台として熱狂的なファンに支持されている



↑Gノーズにはお約束のライトカパーが美しい。光るトリムがなんともクラシックだ!



↑オートエアコンのコントロールユニットは、なんともしっかりとレイアウトされている



↑レーシングカーにも使用されるレーシングシートを装着している

Yamahenの 実際どーなのよ!

なんとゴージャスな1台
Zファン垂涎のマシン、240ZGをベースにしたコンバートモデルは、ファンにもつたいたいと言わせない完璧な仕上がりをみせる。フォルムこそオリジナルのZGだが、車体剛性はエンジンベックに合わせて驚くほど高く、足周りもそれに負けない踏ん張りみせる。ずっと乗っていたい! そう思わせる1台。

お約束の神器も装備
ロッキーオートが誇る高い技術力の結晶、パワステとニッサン純正オートエアコンの装着も万全。パワステはエンジンパワーを食わない電動アシストタイプで、エアコンは装備そのものもさることながら、コントロールユニットのレイアウトがなんとも自然でいい。

フルオーダーメイドで製作
ロッキーオートのエンジンコンバージョンモデルのほとんどは、オーナーの意見を100パーセント活かすフルチョイスで製作される。国産旧車レストアの常識を超えたオーダーにもしっかり応えてくれるので、思い切った要望をしっかりと伝えるのがポイントだ。

楽しい旧車をプロデュース

乗って、踏んで実感する。ガツンとした剛性感に包まれて、ロングノーズを思った方向にグイグイとコントロールしながらのワインディングドライブは「最高!」の一言。胸の空く俊敏な加速感とスポーティカーの醍醐味を満喫するに十分な。

Rocky Auto (ロッキーオート)
〒444-0865
岡崎市明大寺大塚55-31
TEL0564-58-7080
www.rockyauto.co.jp

東名高速の岡崎インターチェンジを降りて5分という、関東からも関西からもアクセス可能なショップ。絶版車をオリジナルに忠実にレストアする高い技術を持ちながら、あえて今のニーズに合わせたコンセプトで「楽しい旧車」をプロデュースする。